

海外自治体幹部交流協力セミナー2025（ニューヨーク事務所管内）

事業概要

1 テーマ

「OPEN FACTORY CITY YAO」を産業スローガンに掲げる八尾市の公民連携した産業観光の取組について

2 海外参加者数：7名

Bryan Thomas	ブライアン トーマス	団長
U. S. A. アメリカ合衆国、全米州議会議員連盟、最高広報責任者		
Dwight Dibben	ドワイト ディビン	副団長
CANADA カナダ、アルバータ州フォレストバーグ村、最高管理責任者		
Todd Glover	タッド グラバー	
U. S. A. アメリカ合衆国、サウスカロライナ州自治体協会、事務局長		
Katie Scott	ケーティー スコット	
CANADA カナダ、ブラインド リバー町 / オンタリオ州自治体実務者協議会、最高管理責任者 / 理事		
Natasha Hampton	ナターシャ ハンプトン	
U. S. A. アメリカ合衆国、リバーデール市、シティマネージャー		
Denise Winfrey	デニス ウィンフリー	
U. S. A. アメリカ合衆国、全米カウンティ協議会/ ウィル群、元会長 / イリノイ州ウィル群議員		
Elizabeth Tolzmann	エリザベス トルツマン	
U. S. A. アメリカ合衆国、ブルーミントン市、暫定シティマネージャー		

3 日程〔2025年9月14日（日）～20日（土）〕

月 日	予 定	宿泊地
9/14(日)	・参加者来日、オリエンテーション	東京都
9/15(月)	・東京セミナー（視察） ・クレア主催歓迎レセプション	東京都
9/16(火)	・東京セミナー（日本の地方自治講義） ・受入自治体（八尾市）へ移動 ・地方交流事業（レセプション/歓迎夕食会）	八尾市
9/17(水)	・地方交流事業（視察）	八尾市
9/18(木)	・地方交流事業（視察） ・帰国前夕食会	八尾市
9/19(金)	・地方交流事業（意見交換会） ・東京都へ移動	東京都
9/20(土)	・参加者帰国	—

4 実施内容

《東京セミナー：9月15日（月）～9月16日（火）》

（1）視察：川越見学

初日は、「小江戸」と呼ばれる埼玉県川越市において、江戸時代の面影を色濃く残している蔵造りの町並みや、川越の象徴的な存在となっている時の鐘を見学した。

川越市は、鉄道会社や埼玉県、地元商店と連携し地域全体での観光プロモーションを行っているが、特にコロナ禍以降、観光客が増加の一途をたどっており、今回のテーマである公民連携による観光振興のモデルケースとして、考察を深める機会となった。



（2）視察：五十嵐酒造

日本一近場で見学できると評判の高い酒蔵を訪問し、酒造の工程について杜氏（酒造りの最高責任者）から直接説明を受けました。日本酒の製造に込められた職人の技やこだわりを間近で感じることができ、日本の伝統的なものづくりの奥深さを学ぶ貴重な機会となりました。



（3）CLAIR 主催歓迎夕食会

CLAIR が主催する歓迎夕食会を開催し、参加者7名のほか、クレアから常務理事、クレアニューヨーク事務所赴任予定者等が参加した。参加者の出身自治体やセミナーテーマなどに関し、忌憚のない意見交換を行い、親睦を深める良い機会となった。



（4）日本の地方自治に関する講義（明治大学教授 木村俊介）

八尾市訪問前に、参加者の日本の地方自治に関する理解促進を図るため、明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科の木村俊介教授による講義を開催した。木村教授から地方自治体の基本構造や役割について、日本とアメリカ合衆国・カナダを比較しながら説明していただいたことで、日本の地方自治体を取り巻く現状について理解を深めた。



《八尾市セミナー：9月16日（火）～9月19日（金）》

（1）八尾市レセプション・歓迎夕食会

八尾市到着後、今回のテーマである公民連携を体現した登録有形文化財萩原家住宅「茶吉庵」にて歓迎セレモニー、集合写真、記念品交換、施設内見学を行った。市長からは温かい歓迎の言葉をいただいた。歓迎夕食会では、琴・尺八の演奏を聴いたり、茶道のお点前を見たりした後、市関係者との交流を深めるとともに、八尾市の魅力や地域課題への理解を深める有意義な時間を過ごすことができた。



（2）視察：大阪・関西万博

アメリカパビリオン、大阪ヘルスケアパビリオン、カナダパビリオンの見学を行った。大阪ヘルスケアパビリオンでは、市長のステージ見学、VIP ルームにて市長・議長と参加者との意見交換、リボン体験として25年後の自分（アバター）と出会い、ミライへのヘルスケアや都市生活体験、唯一自治体として出店する八尾市の出展「とにかく触る博」を見学した。八尾市内の企業13社による、ものづくりの魅力と企業の思いを学び、地域の企業同士が共創して取り組み、そのことが自社へもプラスになるという考えを学んだ。



（3）株式会社友安製作所

ネジを作る小さな町工場からはじまり、現在はオリジナル家具・DIY用品の設計製造、EC・輸入販売、カフェ、工務店、レンタルスペース、メディア、まちづくりなど多角的な事業を展開する、友安製作所を見学した。「生きるをあそぶ」をスローガンに掲げ、彩り豊かな人生を送ることができる社会をデザインしている。隣接する「Factory Cafe」は人気カフェになっており、モノづくりの産業が、観光地になっていることを実感した。



（4）錦城護謨株式会社

錦城護謨株式会社は、工業用ゴムや樹脂製品の製造会社。家電や自動車など幅広い分野で活用されているゴム製品の製造にとどまらず、土木、福祉関連事業、近年ではBtoCの自社ブランドとしてガラスのような輝きを放つ高透明シリコンロックガラスの展開まで手掛けている。大阪・関西万博の会場である夢洲の地盤改良工事に携わり、会場の土台を支える重要な役割を担っている。地元企業の技術力を実感できる見学となった。また、女性が工場でイキイキと働かれていることが印象的であった。



(5) 大阪糖菓株式会社

コンペイトウミュージアムにてコンペイトウ作り体験と工場見学を行った。万博の公式キャラクター「ミャクミャク」をイメージした赤と青のコンペイトウは会場でも期間限定で販売していた。八尾市を代表する優良中小企業であり、モノづくりの町である八尾を体感できた。



(6) 藤田金属株式会社

藤田金属株式会社は、「ヘラ絞り」という金属の円板を回転させながら専用工具で押し当てて薄く立体的な形状に成形する技術を活かし、鉄フライパンをはじめとする調理器具など、金属製品の製造を手がけている。毎日使う身近な道具だからこそ、便利さだけでなく日常を楽しむような道具づくりをめざしている。町工場の作業現場を間近で見学し、オリジナル商品も手に取って触れることができた。フライパンなどの製品を通じて八尾の企業の技術力を改めて学んだ。



(7) 帰国前夕食会

帰国前食会を八尾市内の飲食店で開催した。八尾市滞在の最後の夜ということもあり、視察に関すること以外にもお互いの文化等について交流するなど、和やかな雰囲気のもとで地方交流事業が締めくくられた。



(8) 意見交換会（みせるばやお）

会場となる「みせるばやお」とは近鉄八尾駅前の駅ビルの8階ホールに位置し、平成29年に地元中小企業を中心とする35社が集まり検討した結果、「地域貢献」という大義のもと「魅せる場」を創るが始まりである。今回訪れた企業はいずれも参加しており、まさに今回のセミナーの集大成の場所であった。地方交流事業の総括として、八尾市関係職員を迎え、「みせるばやお」にて参加者の視察結果に関する意見交換を行った。八尾市の施策について、参加者と市職員の双方から活発な意見が交わされ、有意義な議論の場となった。

